

表 5 セルフ・ネグレクトによる近隣への影響アセスメントシート

記入者： 作成： 年 月 日

* 本人がセルフ・ネグレクトである可能性が高い場合に、必要がある場合のみ用いる。

		内 容	備考（状況を記入する）
近隣への影響が 高度に存在する	レベル A （最重度）	- 身体症状（頭痛、吐気など）を誘発する程の強い悪臭が常にある。 - 害虫やネズミ等が大量に発生し、周囲にも行き交う程である。 - 家屋そのものが倒壊する危険性がある。 - 堆積物が重層的に積み重なっており、平時においても敷地を超えて倒壊する危険性がある。 - 堆積物や樹木が道路を塞いでおり、交通の妨げになっている。 - 堆積物の近くで喫煙やストーブ・コンロ等を使用しており、失火の危険性がある。	
近隣への影響が 中等度に存在する	レベル B （重度）	- 悪臭は常にあるが、身体症状（頭痛、吐気など）を誘発する程ではない。 - 害虫やネズミ等が敷地内に発生しているが、近隣に行き交う程ではない。 - 堆積物が重層的に積み重なっており、強い地震や台風のとき等に敷地を越えて倒壊する危険性がある。 - 配線器具の劣化やコンセント部の埃の堆積、電化製品の加熱等があり、すぐにではないが失火する危険性がある。	
近隣への影響はない・ もしくは存在するが軽度である	レベル C （軽度）	- 悪臭はない。もしくは風向きや時間帯等により感じられる程度である。 - 害虫やネズミ等の発生はない。もしくはあっても少なくとも家屋内のみである。 - 堆積物は積み重なっていない。もしくは積み重なってあるが敷地を越える倒壊の危険性はない。 - 失火の危険性はない。	

本事例のレベル
（該当箇所に○）

○レベル A	本人への支援・対応とともに、近隣住民への支援・対応も検討する。
○レベル B	近隣住民との調整を図りながら、定期的な状況確認・支援などモニタリング計画を立案する。
○レベル C	緩やかな見守りを続けていく。

レベル A

レベル B

レベル C

※ 1 項目以上該当ありの場合、高いレベルの条件に従い支援を行う。